

令和3年度
第1回志布志市総合教育会議

令和3年5月19日（水）午前10時～
志布志庁舎4階 庁議室

< 会 次 第 >

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 小中一貫校の在り方について
 - (2) 特認校の検証について
 - (3) 学校規模の現状について
 - (4) 総合教育会議設置要領改正について
- 4 協 議
- 5 その他
- 6 閉 会

令和3年度 第1回志布志市総合教育会議 出席者名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	市 長	下 平 晴 行	
2	教育委員	松 原 治 美	
3	教育委員	島 津 陽 亮	
4	教育委員	津 町 千 代 子	
5	教育委員	益 田 裕 子	
6	教育長	福 田 裕 生	
7	副市長	武 石 裕 二	事務局
8	総務課長	北 野 保	
9	教育総務課長	萩 迫 和 彦	
10	教育総務課長補佐	児 玉 雅 史	
11	教育総務課長補佐兼施設係長	福 元 義 仁	
12	学校教育課長	上 木 勝 憲	
13	学校教育課参事兼指導係長兼指導主事	吉 永 秀 和	
14	学校教育課参事兼指導主事	上 之 園 善 孝	
15	生涯学習課長	江 川 一 正	
16	生涯学習課長補佐兼生涯学習係長	河 野 尚 仁	
17	総務課長補佐	黒 石 直 也	

志布志市総合教育会議設置要領

(設置)

第1条 市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、同じ方向性のもと、連携して効果的に教育行政を推進していくため、志布志市総合教育会議（以下「会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の4第1項の規定により、次に掲げる協議及び事務の調整等を行う。

- (1) 志布志市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関すること。
- (2) 志布志市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に構すべき施策に関すること。
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置に関すること。

(構成員)

第3条 会議は、市長及び教育委員会（以下「構成員」という。）をもって構成する。

(会議)

第4条 会議は、市長が招集し、年2回開催するほか必要に応じて開催する。

- 2 教育委員会は、その権限に属する事務について協議する必要があると思量するときは、市長に対し協議すべき具体的事項を示して、会議の招集を求めることができる。
- 3 会議において構成員の事務の調整が行われた事項については、当該構成員は、その調整の結果を尊重しなければならない。
- 4 会議の議長は、市長をもって充てる。

(意見聴取)

第5条 会議は、協議を行うに当たって必要があると認めるときは、関係者又は学識経験を有する者の出席を求めるなど、当該協議すべき事項に関して意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第6条 会議は、公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

- (1) 個人の秘密を保つため必要があるとき。

- (2) 会議の公正が著しく害されるおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、公益上特に必要があるとき。

(議事録)

第7条 市長は、会議の終了後、遅滞なく、その議事録を作成し、これを公表するものとする。

- 2 議事録の公表は、会議に出席した構成員及び意見聴取した者による議事内容の確認後、前条ただし書きにより公開しないとした部分を除き、市の窓口において閲覧に供し、かつ、市のホームページに掲載することにより公表するものとする。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、総務課において処理する。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会議に諮って定める。

附 則

この要領は、平成27年6月1日から施行する。

令和3年5月19日（水）

令和3年度 第1回志布志市総合教育会議
資 料

【目次】

- 1 小中一貫校の在り方について 1
- 2 特認校の検証について 2
- 3 学校規模の現状について 6

志布志市教育委員会

1 小中一貫校の在り方について

【小・中一貫教育のよさ】

- 小・中学校のなめらかなつなぎ（中1ギャップの解消）
- 9カ年を見通した教育課程の編成と教員の専門性を生かした授業づくり（学力向上）
- 小・中学校の保護者と地域住民が一体となった教育活動への協力と地域の活性化（地域連携向上）

(1) 伊崎田学園の現状について

① 児童・生徒に関すること

- 学校生活のふれあいの中で、近い将来をイメージでき、中学生が手本となった。
- 小学生への教える喜び、小学生へのやさしさ・思いやりの醸成に役立っている。
- 小学生が中学生を慕っており、中学生から学ぶ姿勢が育ってきている。
- 長期間による顔見知りの職員による見守り体制があり、中1ギャップの軽減に役立っている。
- 児童生徒の引継ぎが丁寧に行えるようになった。

② 学力の状況

- 小学生の学力が全体的に高い。本市の課題である中学校の学力に関してもおおむね県平均以上の結果である。

③ 職員に関すること

- 小・中学校職員による乗り入れ授業を行い、専門免許教員による質の高い授業を行うことができる。
- 9カ年を見通した教育課程編成による教育活動の工夫・改善を行い、合同行事や時間割の改善を行った。

【合同（学校）行事の状況（行事名）】

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
小中 合同	音楽発表会 運動会 体育大会 避難訓練	音楽発表会 運動会 体育大会 避難訓練	音楽発表会 運動会 体育大会 避難訓練	入学式 音楽発表会 運動会 体育大会 避難訓練	入学式 音楽発表会 運動会 体育大会 持久走大会 避難訓練

- H29から合同運動会を実施・・・中学生が小学生のよき手本となっており、行事を通して、リーダー育成が図られている。

④ 保護者・地域に関すること

- P T A組織（小・中一貫運営協議会）等を一本化することで、小・中学生の保護者の一体感・協力体制ができた。
- P T A主催の奉仕作業やP T A新聞作成等は以前から合同で取り組んでいるようである。

【P T A行事等の状況】

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
小中 合同	奉仕作業 PTA新聞 作成	学校運営 協議会 奉仕作業 PTA新聞 作成	学校運営 協議会 奉仕作業 PTA新聞 作成	学校運営 協議会 奉仕作業 PTA新聞 作成	学校運営 協議会 奉仕作業 PTA新聞 作成

(2) 伊崎田学園の今後の方向性について

- ・ 施設隣接型の小中一貫教育を可能なところからを推進する。（伊崎田学園の取組のよさを他校にも生かす）
- ・ 合同の教育活動や教科の専門性を生かした授業を更に推進する。
- ・ 分離型の学校に伊崎田学園の成果を活かす。
 松山中校区（小中連携研修会2回）：定期テスト時のノーメディア等の呼びかけを小学校校区へ周知
 志布志中校区（小中連携研修会1回）：入学説明時に小学生6年生へ中学校の教諭等が授業を行う取組
 有明中校区（小中連携研修会1回）：期末テスト時のノーメディアの呼びかけ、中学校教頭が小学校訪問
 宇都中校区（小中連携研修会1回）：3つのそろえる「時刻」を中学校区で設定の上、徹底を図っている。

2 特認校の検証について

1 特認校生の人数

当初は四浦小学校、八野小学校及び出水中学校の3校でしたが、平成24年度から田之浦小学校、平成28年度から森山小学校と潤ヶ野小学校が加わりました。

その後、志布志地域の学校の統廃合等を経て、現在、特認校指定されているのは、田之浦小学校、森山小学校及び潤ヶ野小学校の3校となっています。

特認校生の人数は、平成28年度以降年々増加しており、今年度は4月6日現在で、合計43人が特認校へ通学しています。

【特認校生の人数】 H27～R2は年度末の人数、R3. 4の人数（ ）内は全校数

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
田之浦小学校	2人 (7)	1人 (4)	6人 (9)	10人 (16)	14人 (21)	15人 (22)	11人 (20)
森山小学校	— (12)	0人 (15)	1人 (15)	4人 (18)	5人 (13)	7人 (14)	9人 (13)
潤ヶ野小学校	— (9)	8人 (18)	9人 (24)	15人 (27)	20人 (32)	23人 (31)	23人 (32)
計	2人 (28)	9人 (37)	16人 (48)	29人 (61)	39人 (66)	45人 (67)	43人 (65)
児童数に占める特認校生の割合	7.2%	24.3%	33.3%	47.5%	59.1%	67.2%	66.2%

【就学すべき学校別特認校生の人数】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
志布志小学校	—	4人	6人	12人	20人	23人	22人
香月小学校	2人	1人	6人	9人	9人	11人	11人
安楽小学校	—	4人	4人	5人	5人	9人	9人
通山小学校	—	—	—	3人	3人	2人	1人
有明小学校	—	—	—	—	2人	—	—
計	2人	9人	16人	29人	39人	45人	43人

【学校別特認校生通学状況】
【田之浦小学校】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
志布志小学校	—	—	1人	1人	3人	4人	3人
香月小学校	2人	1人	4人	7人	7人	7人	4人
安楽小学校	—	—	1人	1人	3人	4人	4人
通山小学校	—	—	—	1人	1人	—	—
有明小学校	—	—	—	—	—	—	—
計	2人	1人	6人	10人	14人	15人	11人

【森山小学校】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
志布志小学校		—	—	1人	2人	3人	3人
香月小学校		—	—	—	—	1人	4人
安楽小学校		—	1人	1人	1人	1人	1人
通山小学校		—	—	2人	2人	2人	1人
有明小学校		—	—	—	—	—	—
計		—	1人	4人	5人	7人	9人

【潤ヶ野小学校】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
志布志小学校		4人	5人	10人	15人	16人	16人
香月小学校		—	2人	2人	2人	3人	3人
安楽小学校		4人	2人	3人	1人	4人	4人
通山小学校		—	—	—	—	—	—
有明小学校		—	—	—	2人	—	—
計		8人	9人	15人	20人	23人	23人

【令和3年度特認校生学年別内訳】（ ）内は全体数

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
田之浦小学校	2人 (4)	1人 (1)	2人 (4)	4人 (7)	－ (1)	2人 (3)	11人 (20)
森山小学校	1人 (1)	1人 (1)	－ (1)	5人 (7)	－ (1)	2人 (2)	9人 (13)
潤ヶ野小学校	3人 (4)	4人 (6)	6人 (8)	4人 (5)	4人 (6)	2人 (3)	23人 (32)
計	6人 (9)	6人 (8)	8人 (13)	13人 (19)	4人 (8)	6人 (8)	43人 (65)

2 スクールタクシーの台数

特認校への通学には、市が委託したタクシーを利用しています。

特認校生の増加に伴い、スクールタクシーの台数も増えており、今年度は、ジャンボタクシー4台と普通タクシー2台の計6台で運行しています。

【スクールタクシーの台数】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ジャンボタクシー	－	－	2台	3台	4台	4台	4台
普通タクシー	1台	3台	－	1台	2台	2台	2台

3 スクールタクシーの運行コース及び運行費用

スクールタクシーは、田之浦小学校と森山小学校の乗合せコース、潤ヶ野小学校の単独コースに分けて運行しています。

タクシー1台当たりの乗車可能人数は、ジャンボタクシーが9人、普通タクシーが4人で、各運行コースの特認校生の人数に応じてタクシーの運行台数を分けており、今年度は昨年度同様、両コースとも、ジャンボタクシー2台と普通タクシー1台で運行しています。

【令和3年度田之浦小学校・森山小学校コース】

コース	Aコース	Bコース	Cコース
タクシー種類	普通タクシー	ジャンボタクシー	ジャンボタクシー
乗車人数	3人	8人	9人
バス停	志布志庁舎 県道65号線沿い待避所	山宮神社 そお鹿児島農協 弓場ヶ尾簡易郵便局	南部消防署跡 山宮神社 陽春堂内科 麓地区駐輪駐車場

【令和3年度潤ヶ野小学校コース】

コース	Dコース	Eコース	Fコース
タクシー種類	普通タクシー	ジャンボタクシー	ジャンボタクシー
乗車人数	4人	9人	9人
バス停	麓地区駐輪駐車場 県道65号線沿い待避所	志布志タイヤセンター 山宮神社 中島歯科	三州タクシー 中島歯科

【スクールタクシー運行費用】

千円未満切上げ(R3は予算額)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
委託料総額	700千円	2,116千円	3,452千円	5,459千円	8,799千円	11,334千円	11,393千円
特認校生数	2人	9人	16人	29人	39人	45人	43人
1人当たりの年間費用 (委託料/特認校生数)	350千円	236千円	216千円	189千円	226千円	252千円	265千円

3 学校規模の現状について

本市の学校施設は、小学校のうち過小規模校6校、小規模校10校に分類されます。中学校は、5校全て小規模校です。

児童・生徒数は引き続き減少傾向にあり、学校の小規模化が更に進むことが予想されます。このため本市においては、少子化に対応した学校づくり等の検討が必要となります。

単位：人、クラス

小学校	松山小学校	泰野小学校	尾野見小学校	志布志小学校	香月小学校	潤ヶ野小学校
児童数	73	55	63	292	293	32
学級数	8	7	8	16	14	5
(うち特別支援学級)	(2)	(2)	(2)	(5)	(3)	(2)
小学校	安楽小学校	田之浦小学校	森山小学校	伊崎田小学校	蓬原小学校	野神小学校
児童数	227	20	13	82	85	122
学級数	12	4	5	8	8	9
(うち特別支援学級)	(3)	(1)	(2)	(2)	(2)	(3)
小学校	有明小学校	通山小学校	原田小学校	山重小学校		
児童数	158	148	49	48		
学級数	8	9	6	7		
(うち特別支援学級)	(2)	(3)	(2)	(2)		

単位：人、クラス

中学校	松山中学校	志布志中学校	有明中学校	宇都中学校	伊崎田中学校
生徒数	105	403	139	152	36
学級数	5	15	8	9	5
(うち特別支援学級)	(2)	(4)	(3)	(3)	(2)

	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
	5学級以下	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
小学校 (学級数)	泰野小学校 (5) 潤ヶ野小学校 (3) 田之浦小学校 (3) 森山小学校 (3) 原田小学校 (4) 山重小学校 (5)	松山小学校 (6) 尾野見小学校 (6) 志布志小学校 (11) 安楽小学校 (9) 香月小学校 (11) 伊崎田小学校 (6) 蓬原小学校 (6) 野神小学校 (6) 有明小学校 (6) 通山小学校 (6)		—	—
	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
	2学級以下	3～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
中学校 (学級数)	—	松山中学校 (3) 志布志中学校 (11) 有明中学校 (5) 宇都中学校 (6) 伊崎田中学校 (3)		—	—

※令和3年(2021年)5月1日時点

1 小学校の児童数及び学級数の推移

小学校では、平成22年度以降、市内の小学校16校の全児童数は、減少傾向にあったものの、平成28年度を境に徐々に増加に転じていましたが、令和3年度を境に、再び減少傾向にあります。令和3年度現在では、1,760人となっており、平成22年度と比較すると約3%減少しています。児童数の変化の傾向は学校ごとに異なり、この11年間で安楽小学校、野神小学校、有明小学校では約3～6割増加していますが、松山小学校では約2割、伊崎田小学校では約3割減少しています。

平成22年度と令和7年度を比較すると全体で11.3%減少することが見込まれていますが、松山小学校、泰野小学校、潤ヶ野小学校、田之浦小学校、森山小学校、伊崎田小学校では、3割以上減少することが見込まれています。

【児童数・学級数の推移】※学校施設等長寿命化計画（R3.3策定）より

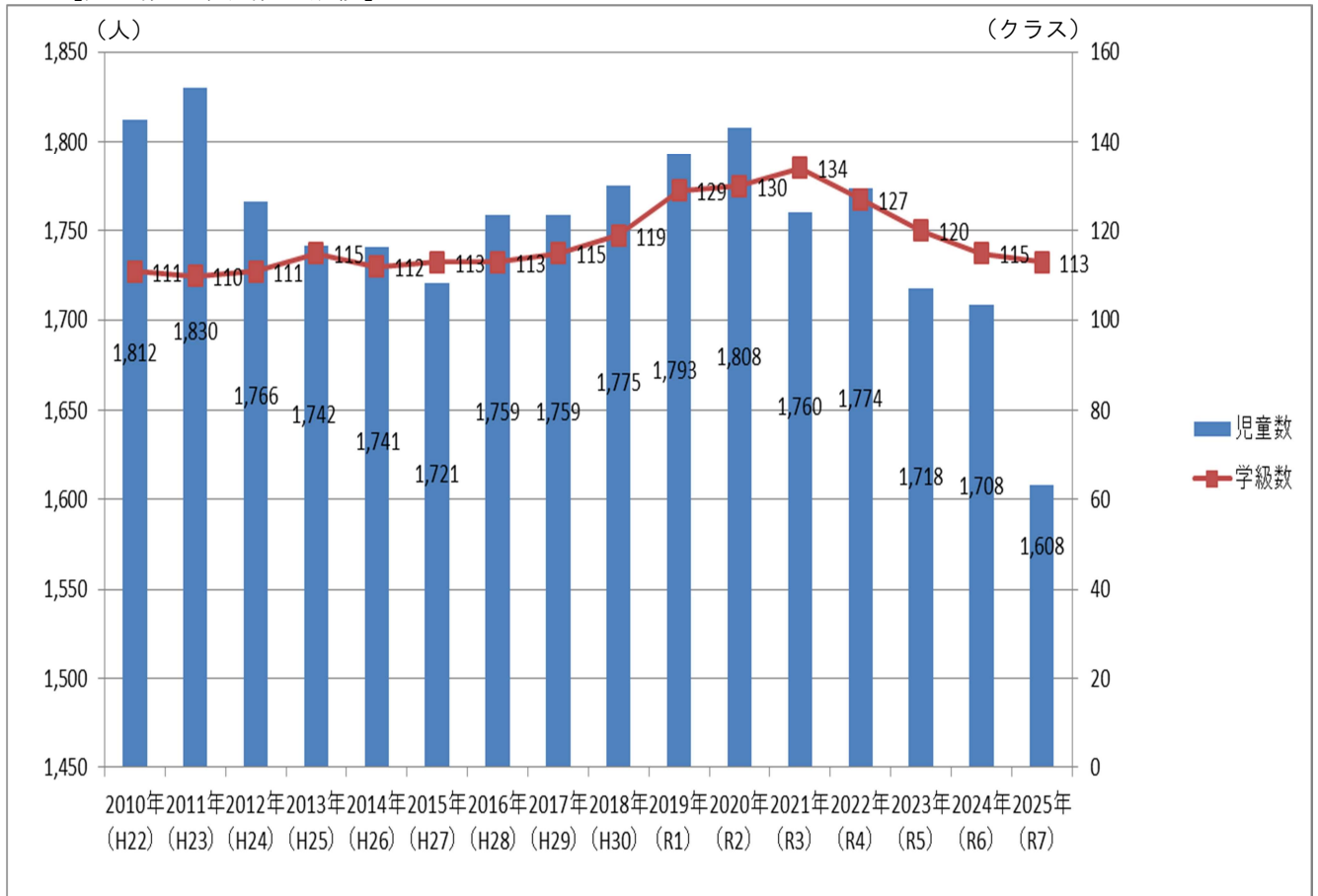
単位：人、クラス R3：（）は特支学級数

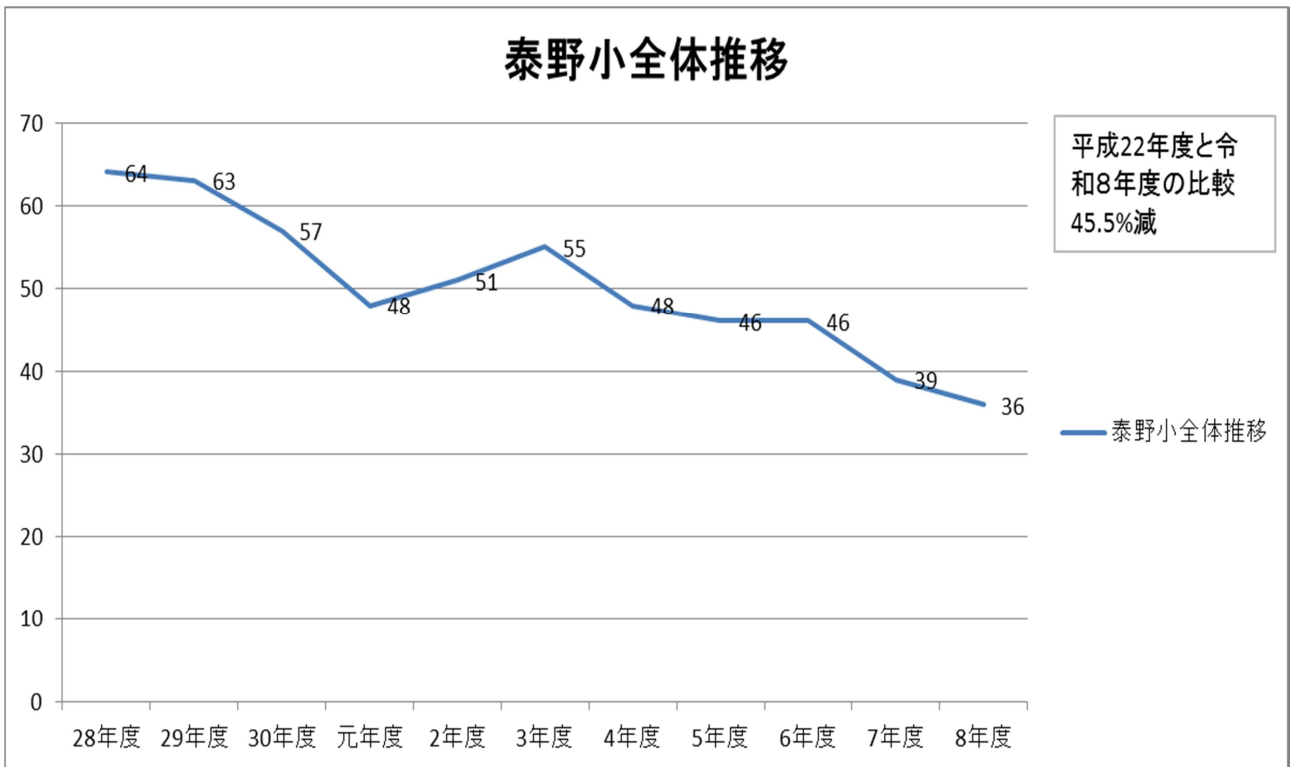
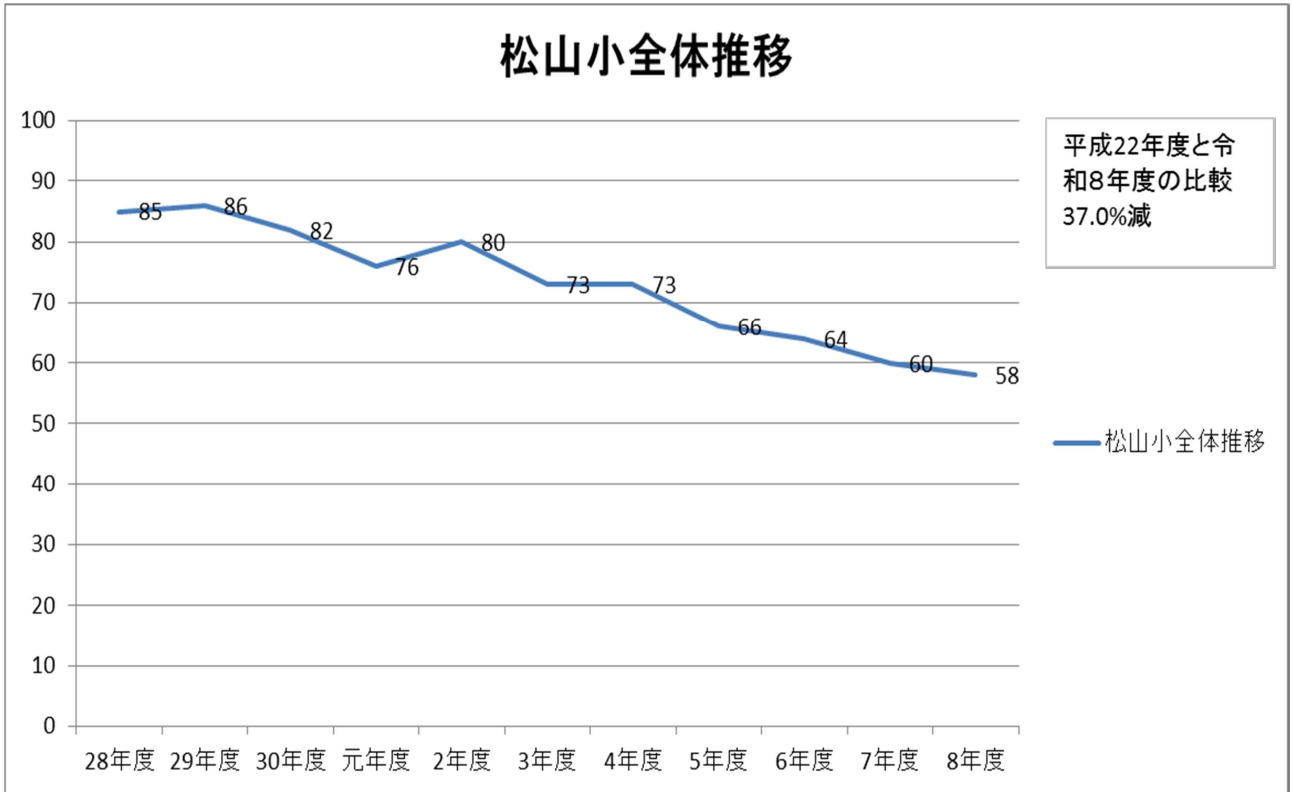
小学校	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	
松山小学校	児童数	92	92	84	91	90	87	85	86	82	76	80	73	76	69	69	62
	学級数	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8 (2)	8	8	7	7
泰野小学校	児童数	66	64	62	63	60	56	64	63	57	48	51	55	45	43	43	38
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6	6	7 (2)	5	6	5	6
尾野見小学校	児童数	59	72	67	65	72	69	70	64	73	70	64	63	66	62	51	45
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	7	8	8	8 (2)	8	8	8	7
志布志小学校	児童数	354	362	359	368	371	367	351	326	302	298	295	292	307	313	329	320
	学級数	15	16	15	15	14	14	14	14	15	15	15	16 (5)	14	14	15	15
香月小学校	児童数	356	367	354	353	352	343	333	332	344	334	301	293	301	285	280	275
	学級数	15	15	16	16	16	15	14	14	15	16	15	14 (3)	14	13	13	13
潤ヶ野小学校	児童数	37	30	26	19	15	9	18	24	27	32	31	32	31	27	23	15
	学級数	4	3	3	3	3	2	3	5	6	6	6	5 (2)	6	5	5	4
安楽小学校	児童数	152	149	145	135	133	126	137	151	164	188	209	227	241	231	242	212
	学級数	6	7	8	8	8	8	8	8	8	10	11	12 (3)	12	12	11	10
田之浦小学校	児童数	15	12	8	9	6	7	4	9	16	21	22	20	17	17	12	8
	学級数	3	3	2	3	2	3	3	3	3	4	3	4 (1)	3	2	3	3
森山小学校	児童数	16	16	17	13	15	12	15	15	18	13	15	13	9	9	4	4
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	5	5	4	5	5 (2)	5	4	4	3
四浦小学校	児童数	(休校)															
	学級数	(休校)															
八野小学校	児童数	10	(休校)														
	学級数	3	(休校)														
伊崎田小学校	児童数	118	114	99	86	75	79	80	78	79	84	88	82	77	70	61	52
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8 (2)	7	7	6	7
蓬原小学校	児童数	86	79	68	67	67	70	73	80	82	84	94	85	82	80	75	72
	学級数	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8 (2)	7	7	5	6
野神小学校	児童数	93	99	104	104	102	111	111	125	126	133	139	122	130	109	108	99
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	9	9	9 (3)	9	9	8	8
有明小学校	児童数	96	104	109	107	120	118	132	135	134	144	154	158	141	143	144	140
	学級数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8 (2)	8	7	7	7
通山小学校	児童数	168	172	166	151	149	164	171	164	170	175	172	148	160	164	167	179
	学級数	6	6	6	6	7	8	8	7	7	7	8	9 (3)	7	7	7	7
原田小学校	児童数	45	48	53	62	68	57	66	61	57	50	48	49	46	45	44	38
	学級数	4	4	5	6	6	6	6	6	5	7	6	6 (2)	7	5	5	4
山重小学校	児童数	49	50	45	49	46	46	49	46	44	43	45	48	45	51	56	49
	学級数	5	6	5	6	5	6	6	6	5	6	6	7 (2)	7	6	6	6
小学校 合計	児童数	1,812	1,830	1,766	1,742	1,741	1,721	1,759	1,759	1,775	1,793	1,808	1,760	1,774	1,718	1,708	1,608
	学級数	111	110	111	115	112	113	113	115	119	129	130	134 (38)	127	120	115	113

【学級数の推移】

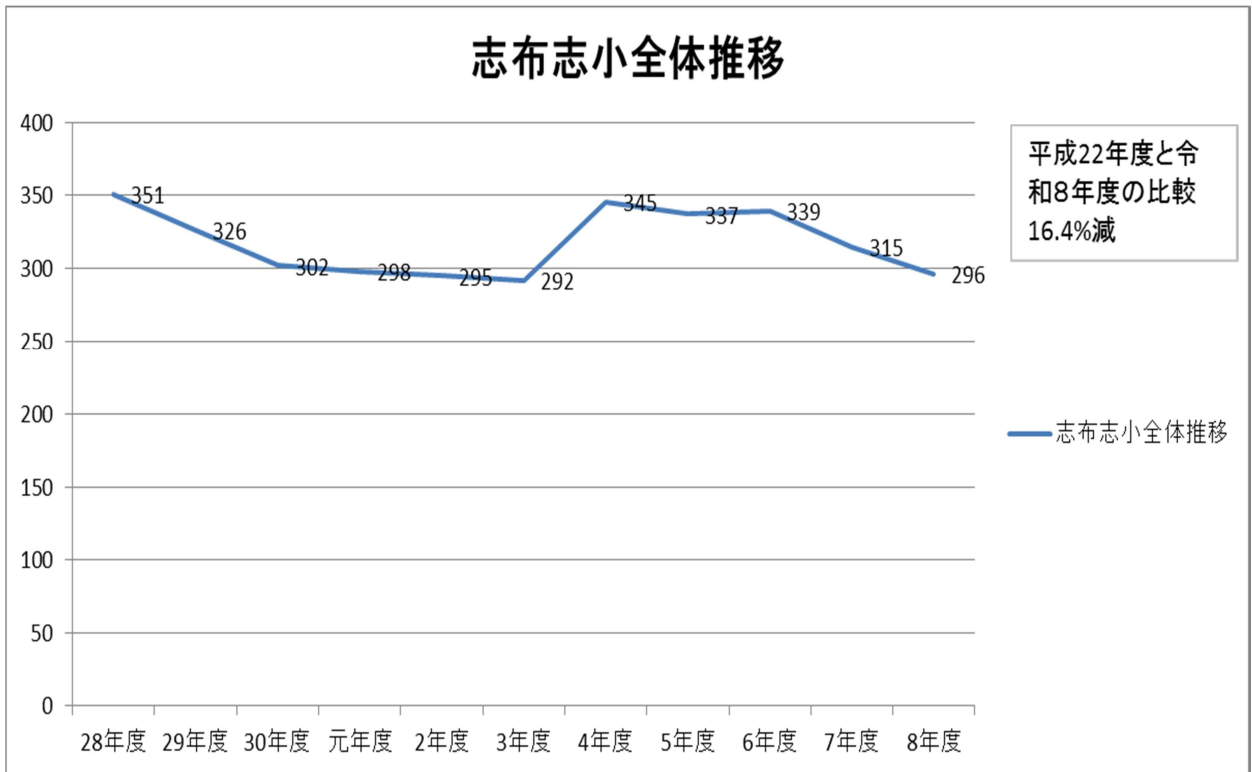
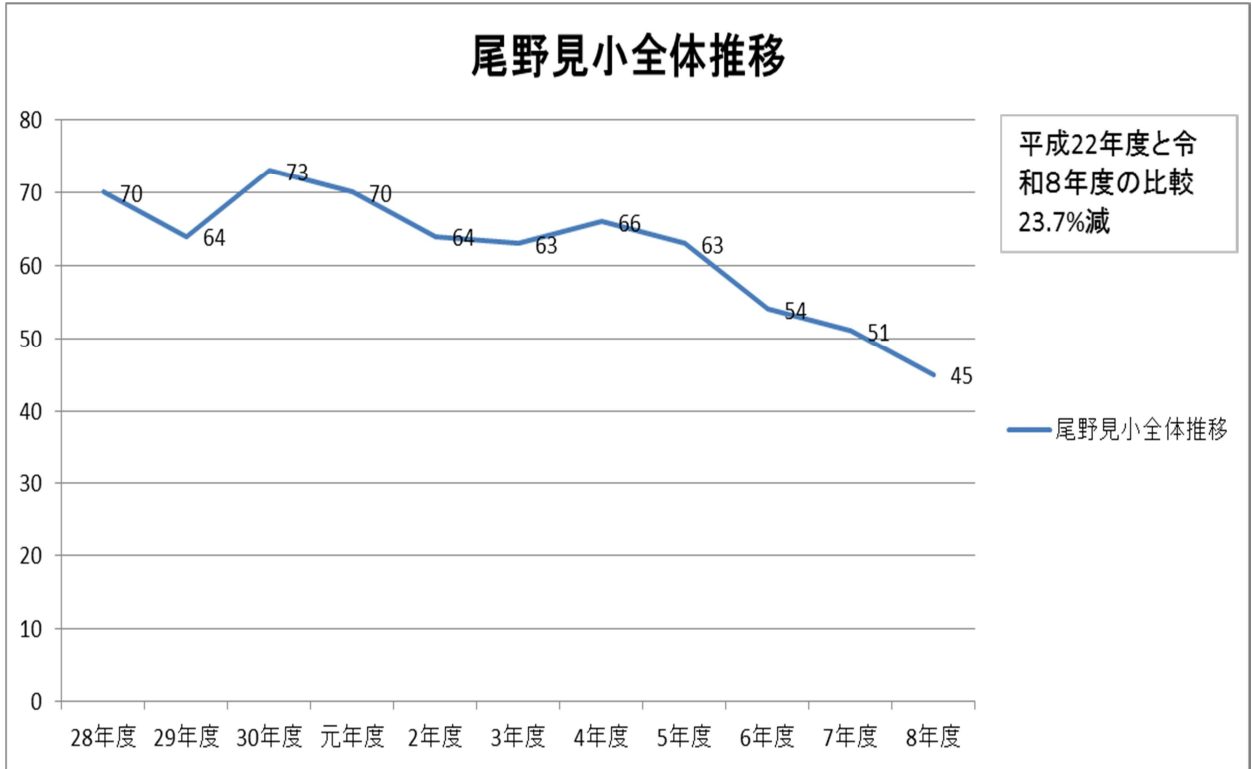
学級数	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
特別	9	10	14	15	14	14	14	17	21	32	35	38	31	25	22	20
普通	102	100	97	100	98	99	99	98	98	97	95	96	96	95	93	93

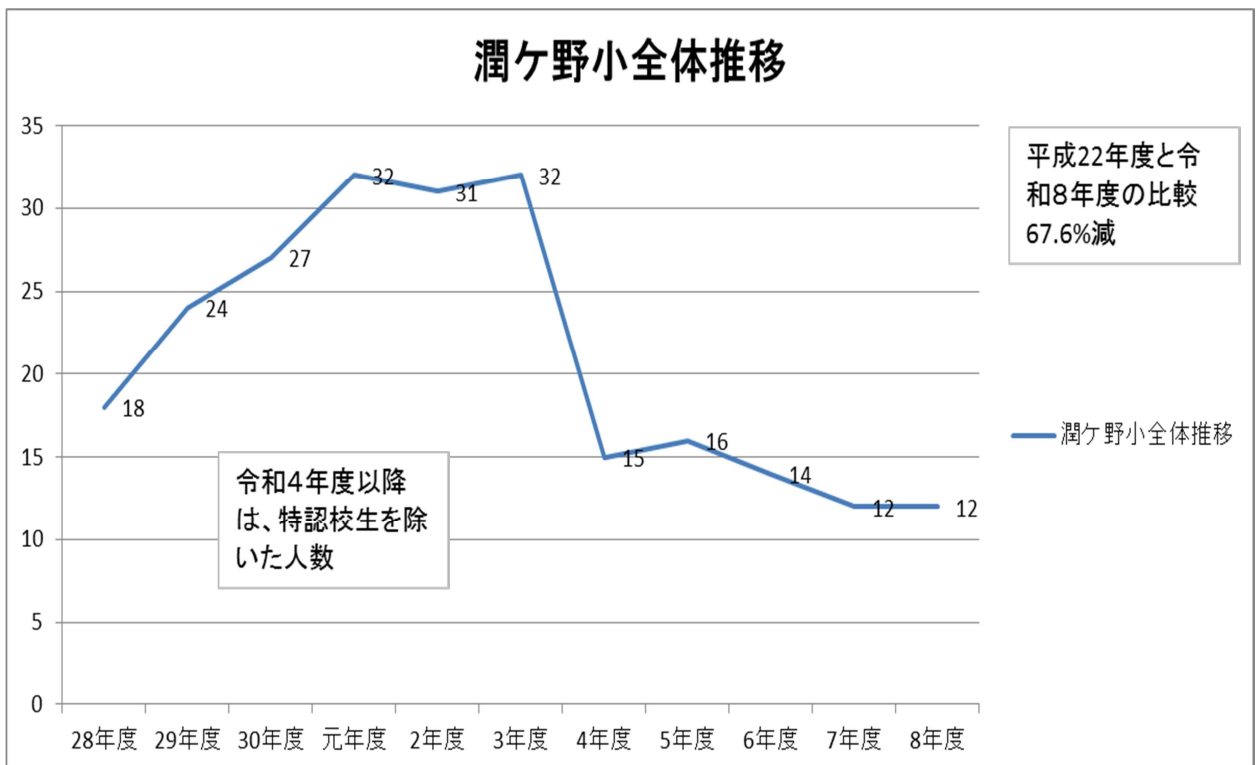
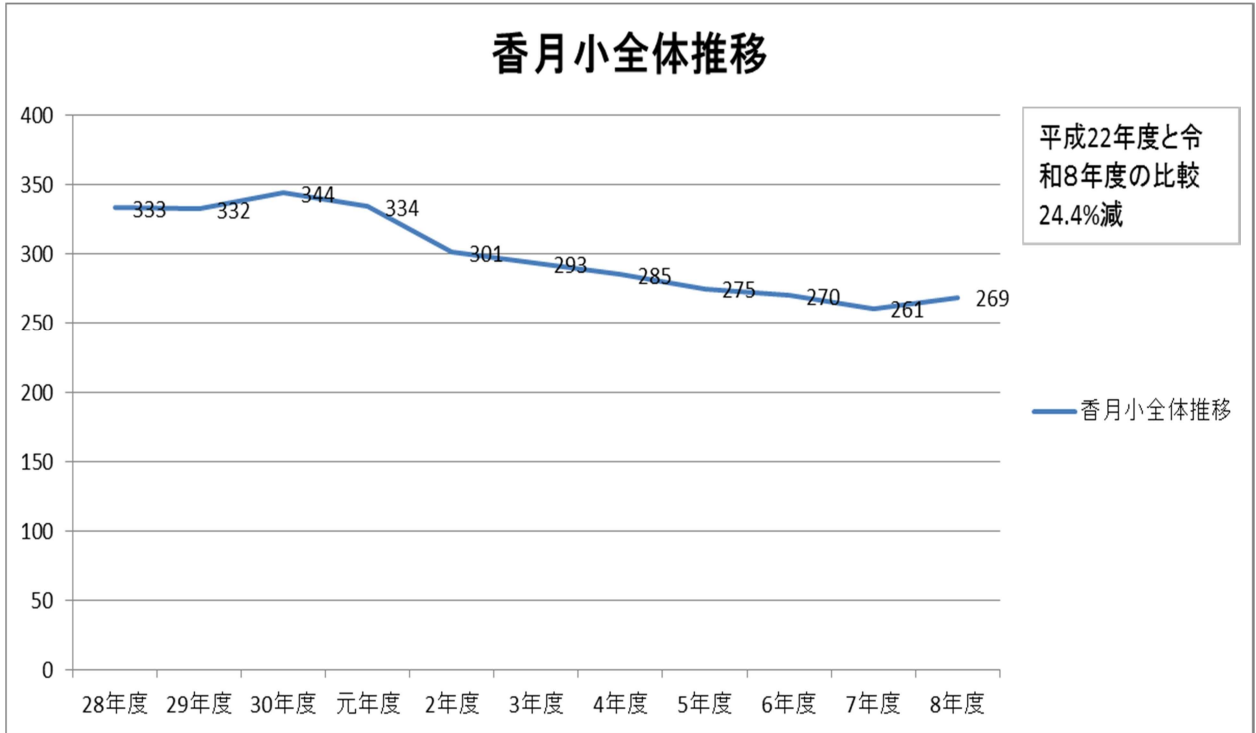
【児童数・学級数の推移】

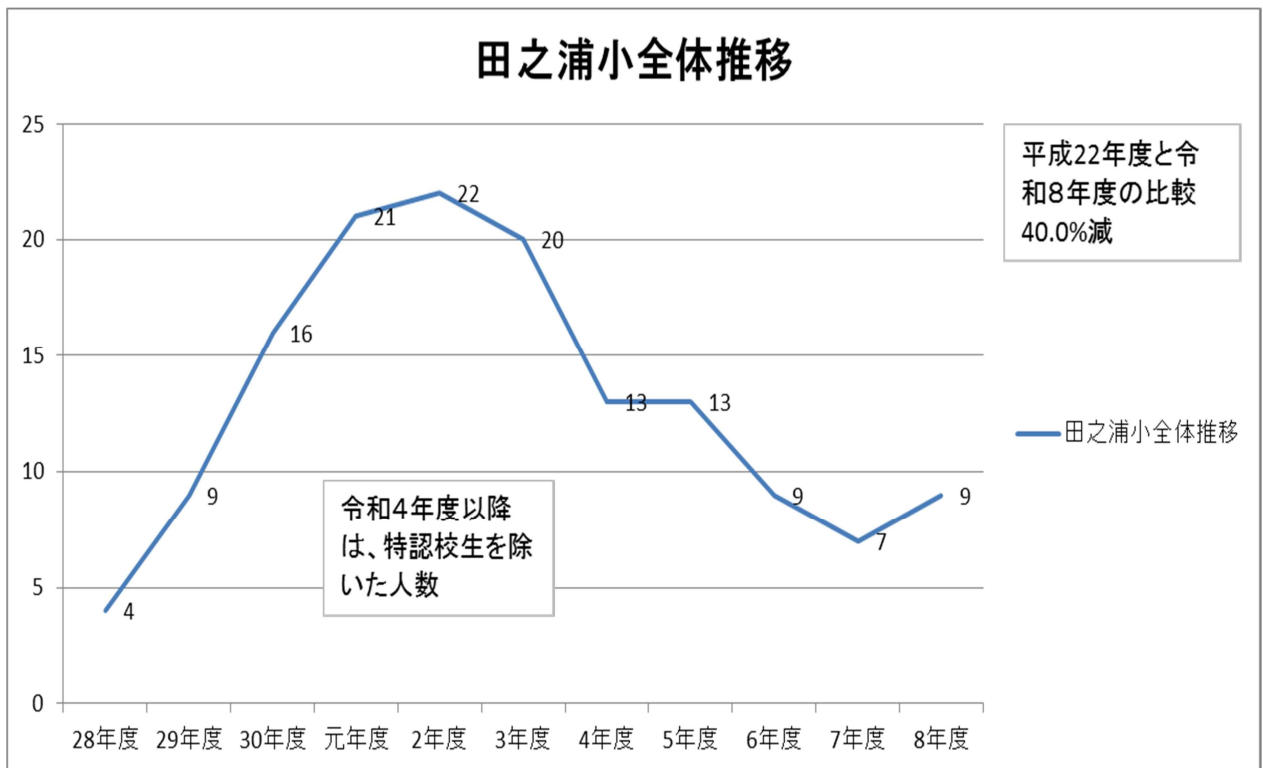
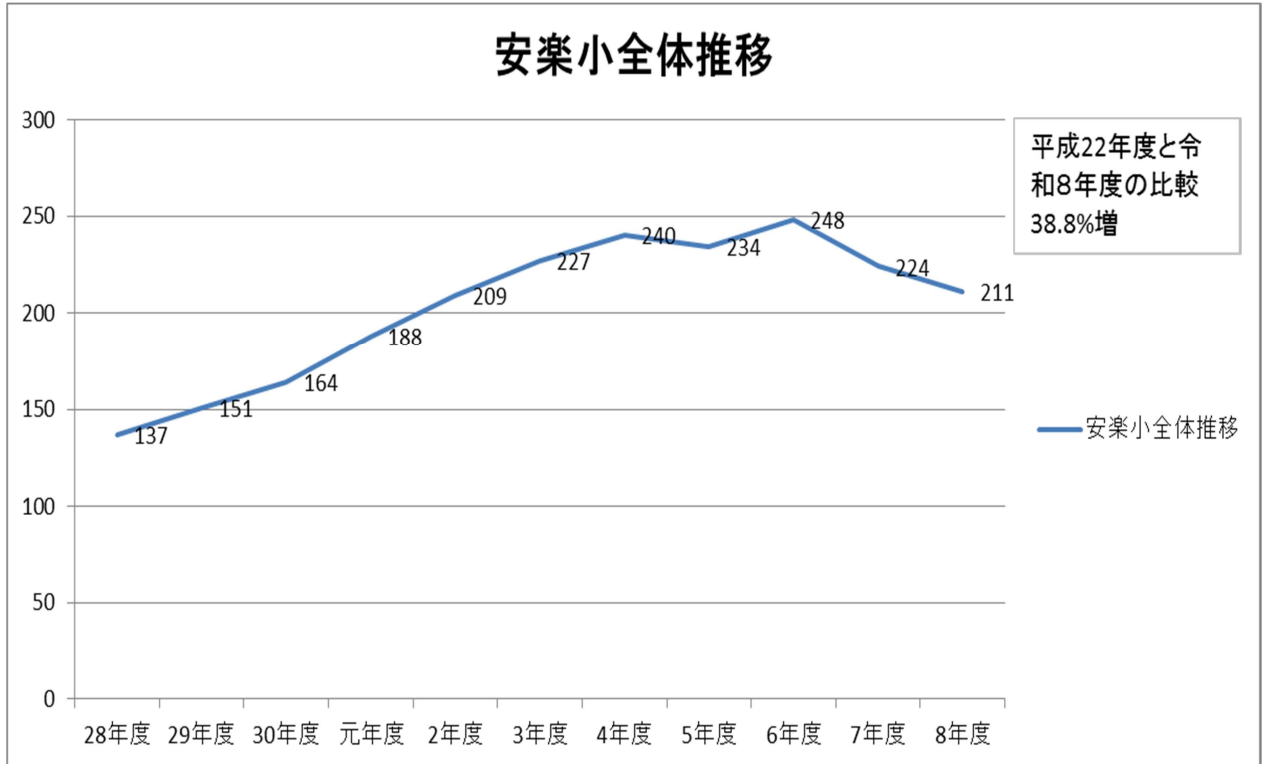


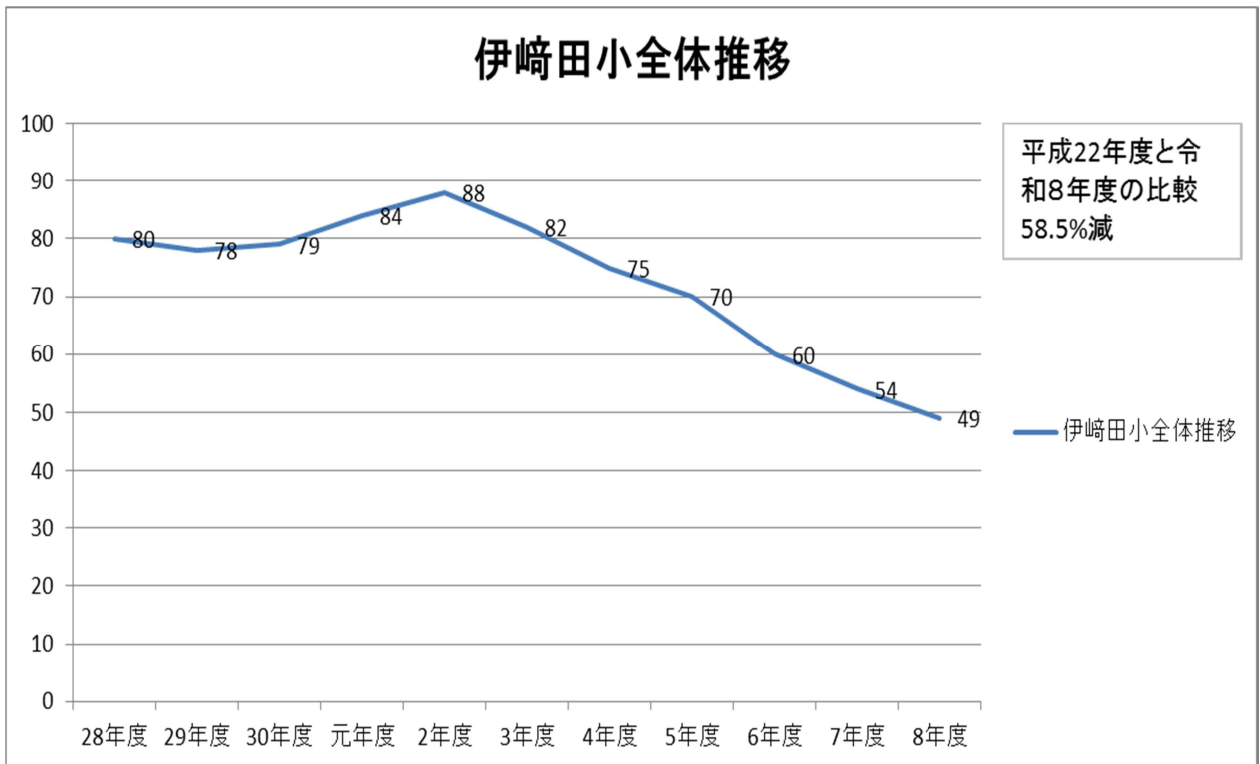
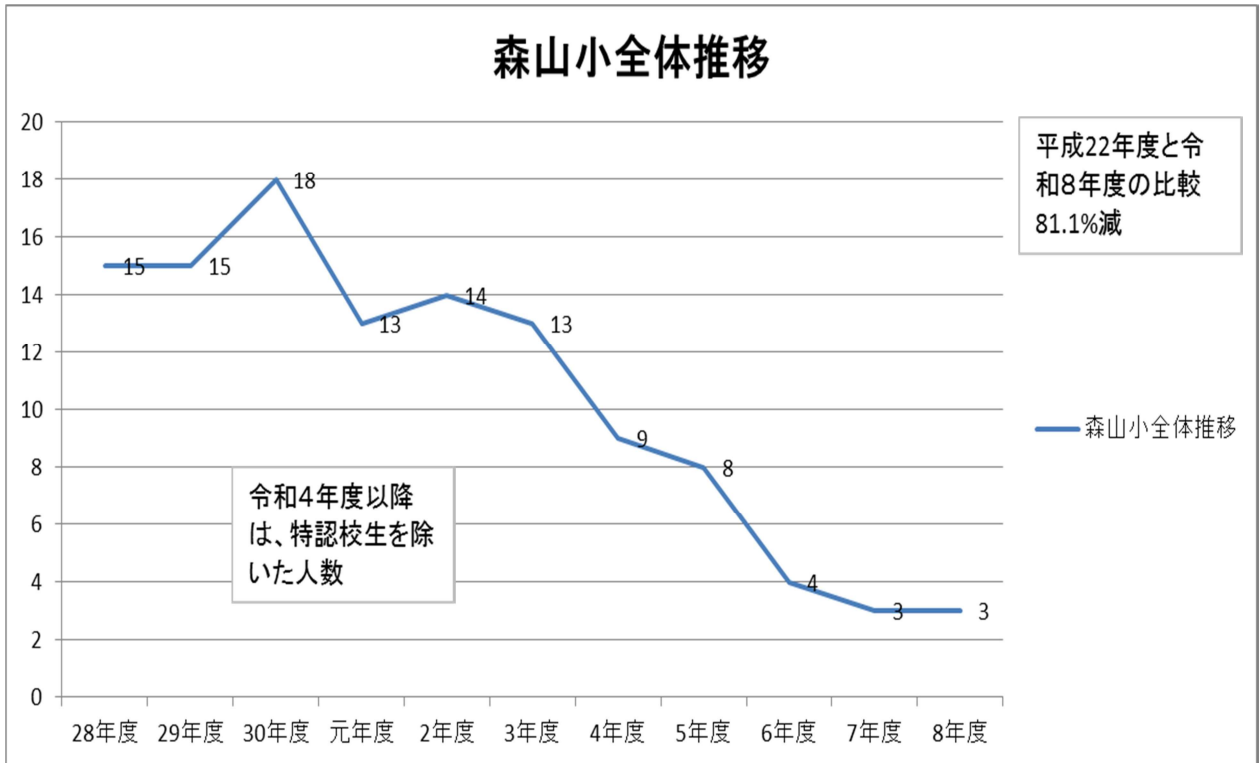


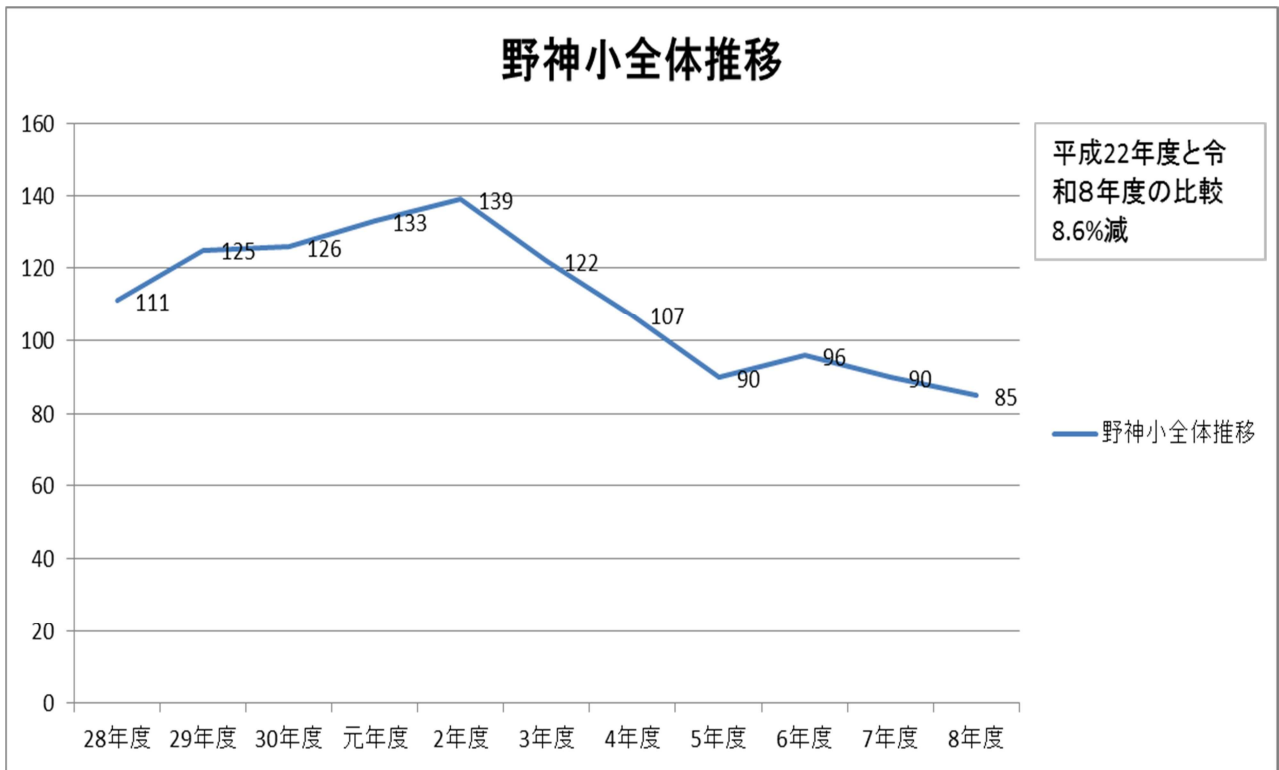
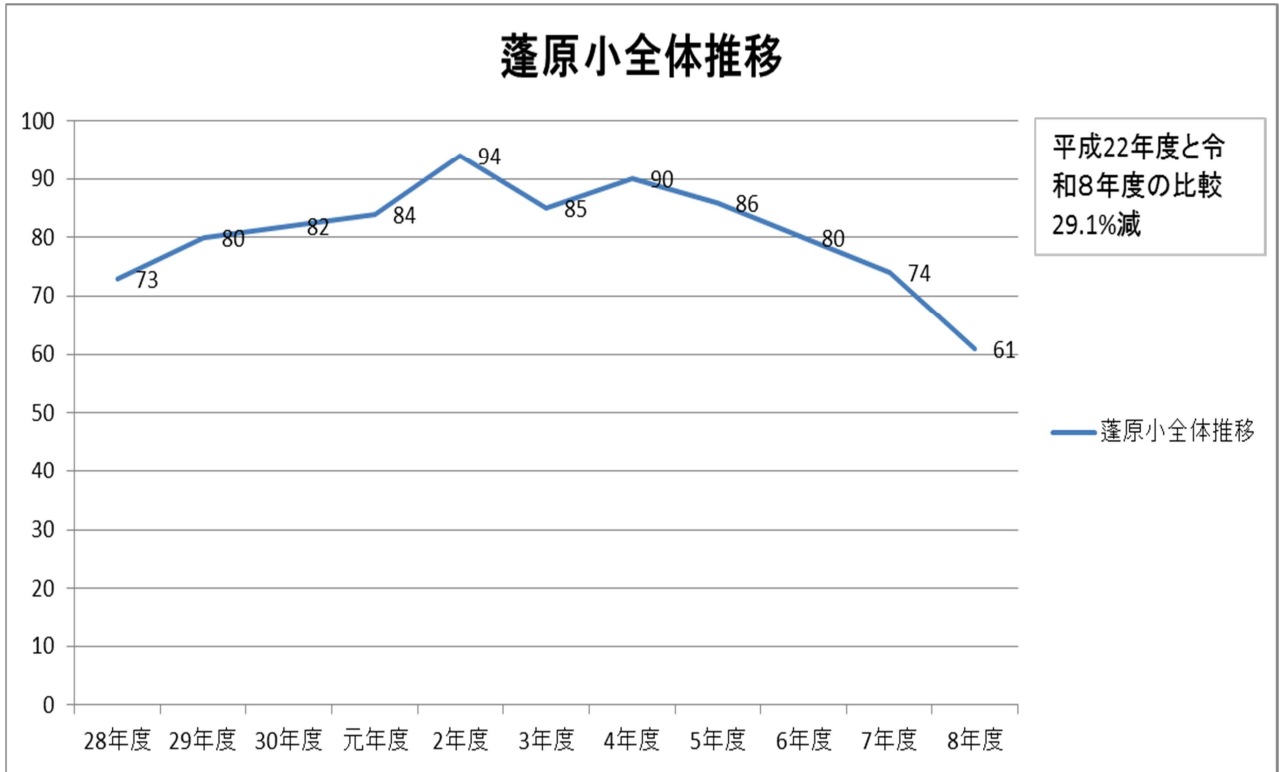
※参考
平成22年 (2010)
令和8年 (2026)

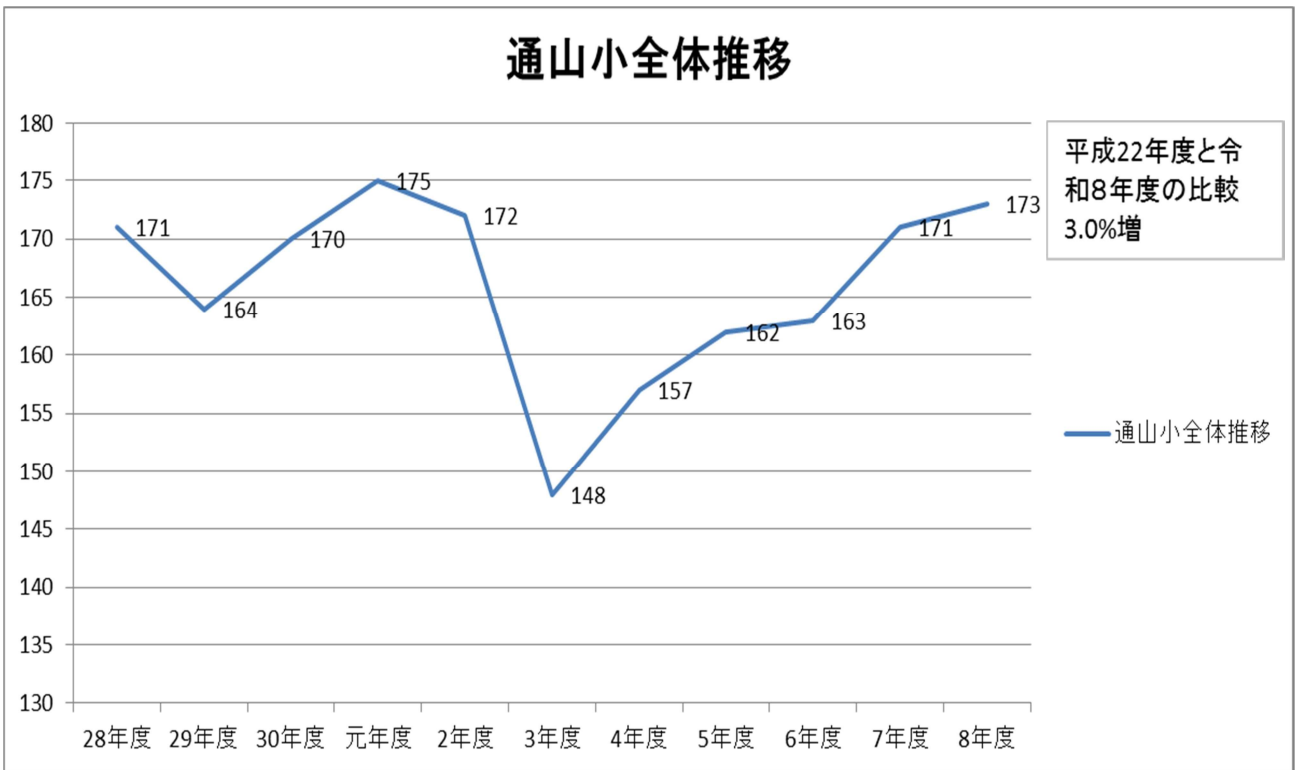
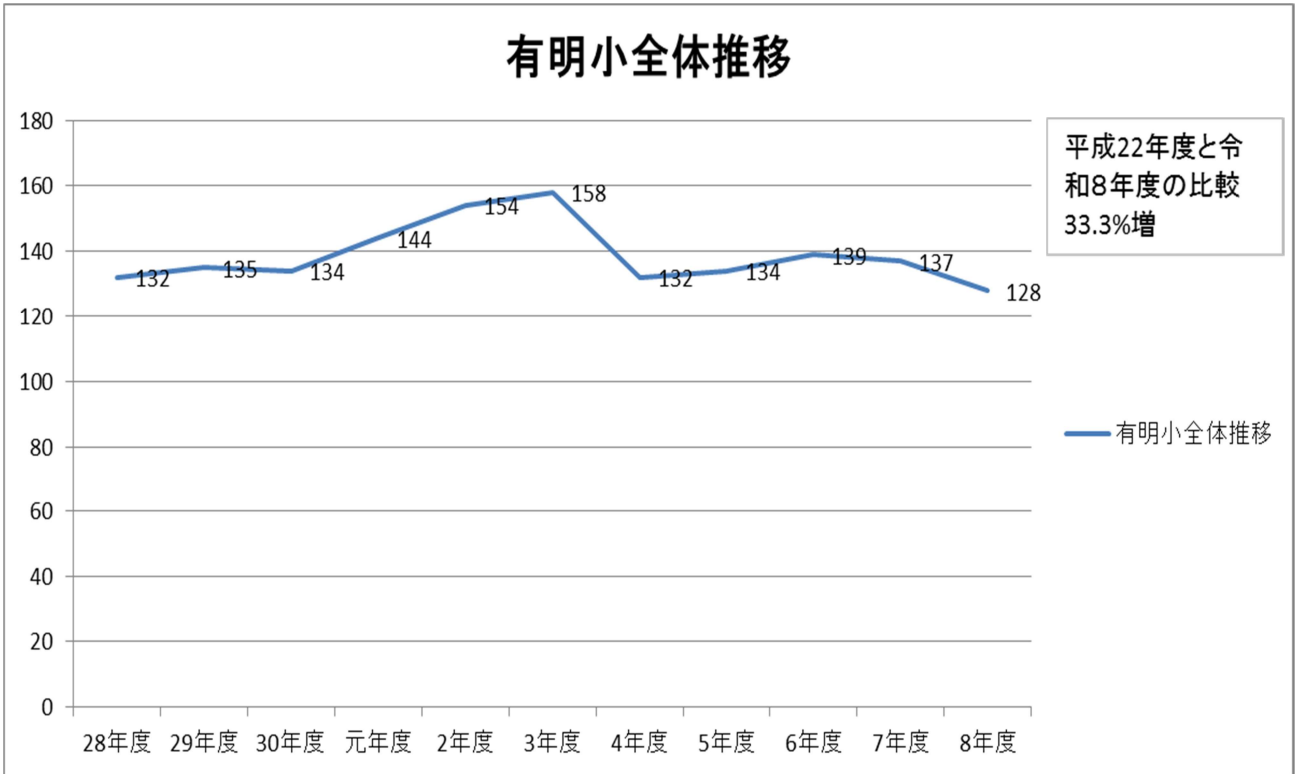


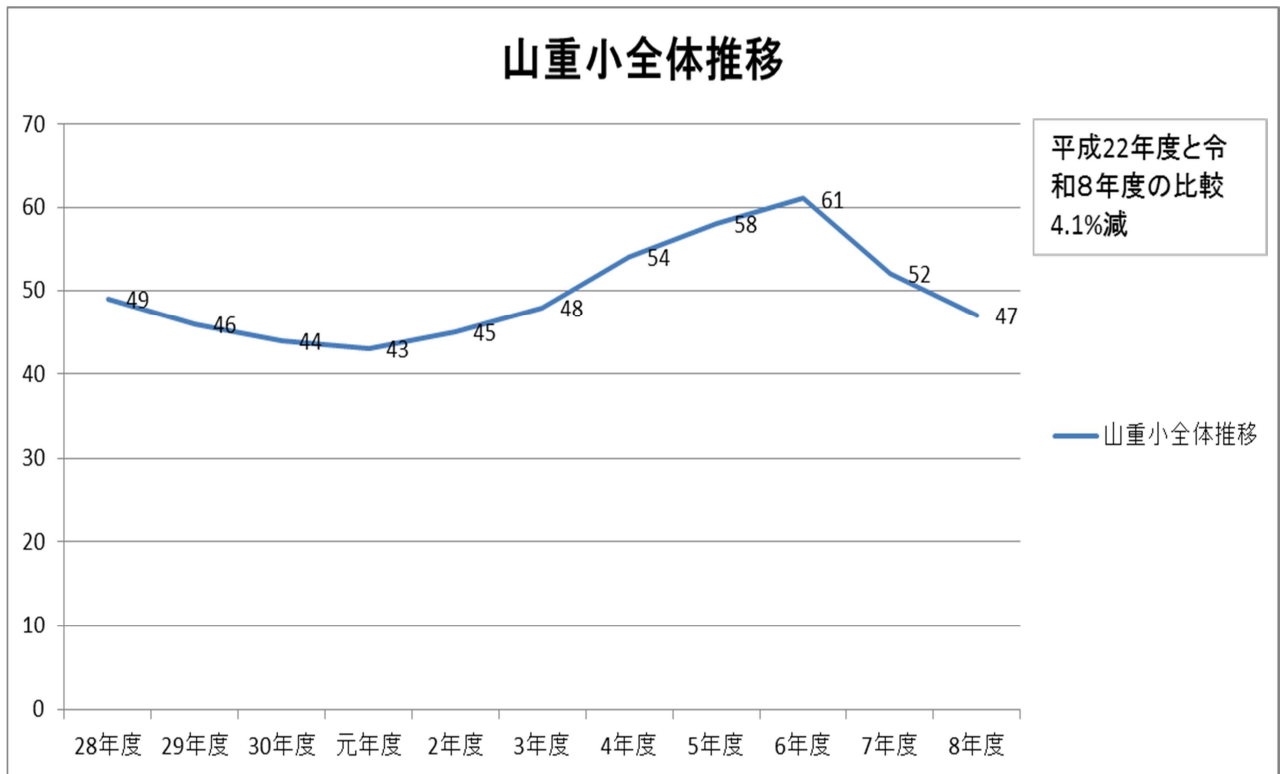
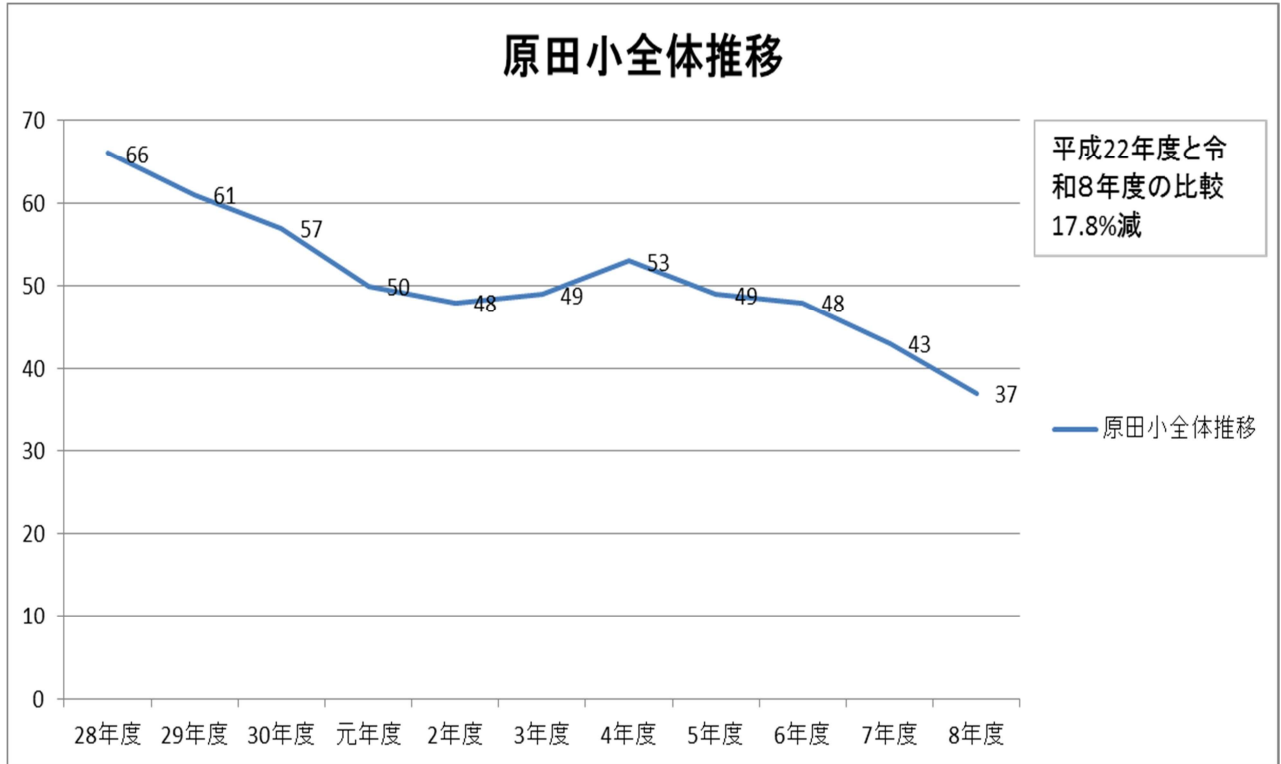












2 中学校の生徒数及び学級数の推移

中学校では、平成22年度以降、市内の中学校5校の全生徒数は、増減を繰り返しながら徐々に減少し、令和3年度現在では、835人となり、平成22年度と比較すると16.1%減少しています。有明中学校を除く全ての中学校において、約1～2割減少しています。

平成22年度と令和7年度を比較すると全体で8.8%減少することが見込まれている中で、松山中学校は約2割減少することが見込まれています。

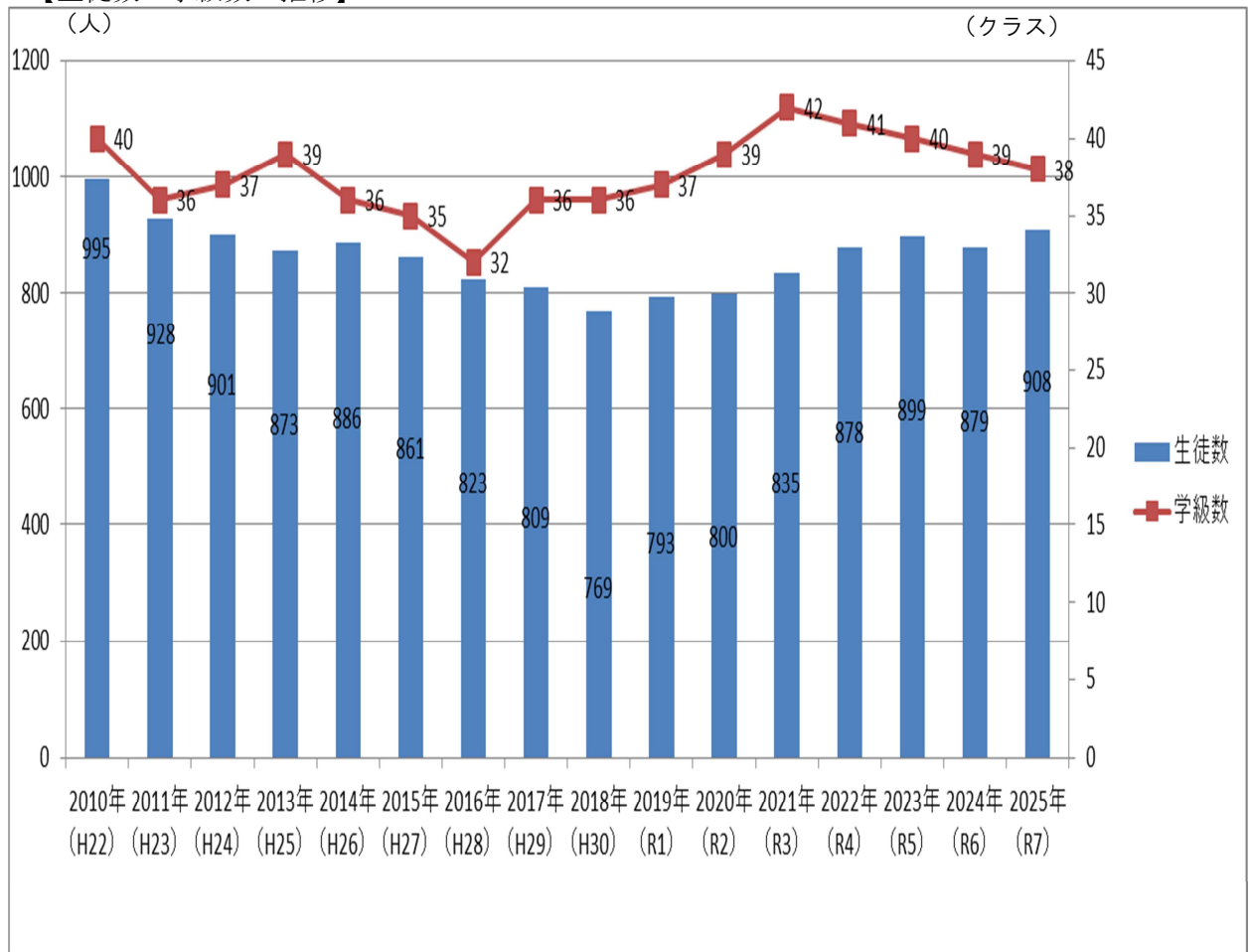
【生徒数・学級数の推移】※学校施設等長寿命化計画（R3.3策定）より 単位：人、クラス R3：（）は特支学級数

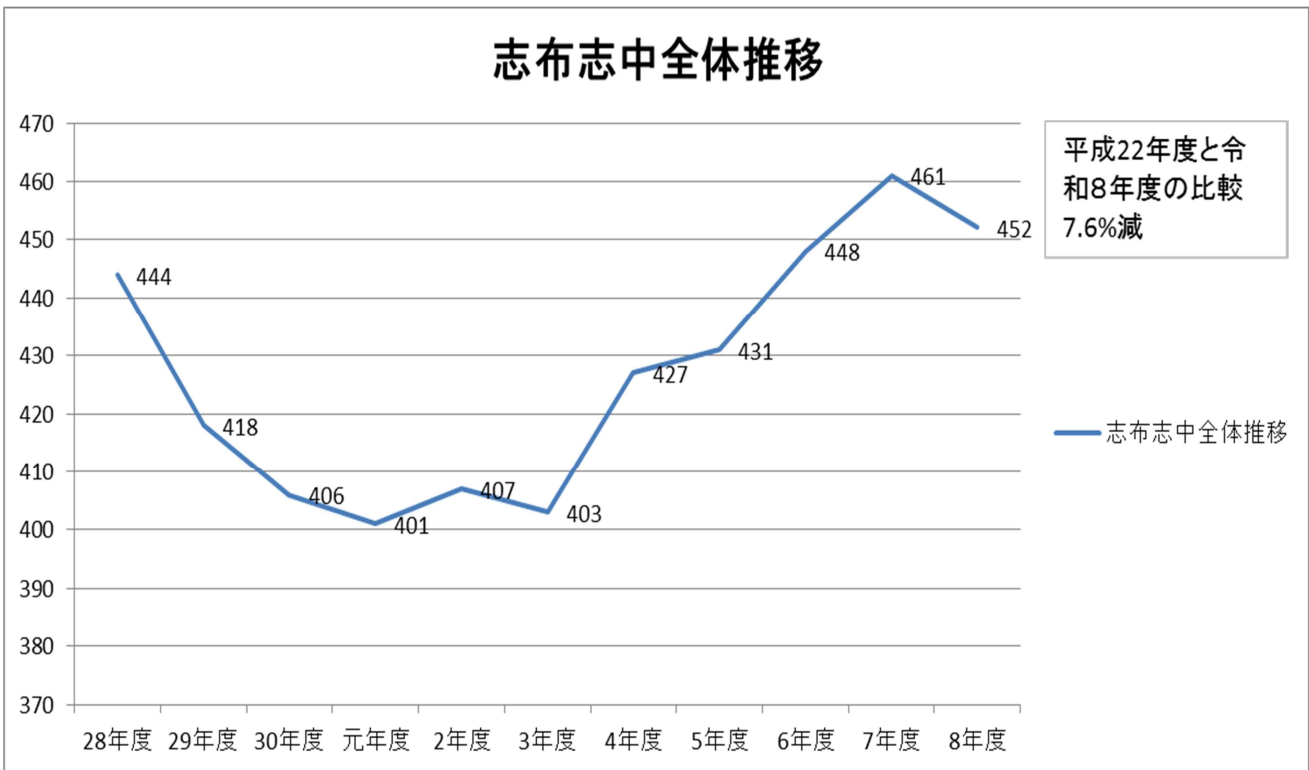
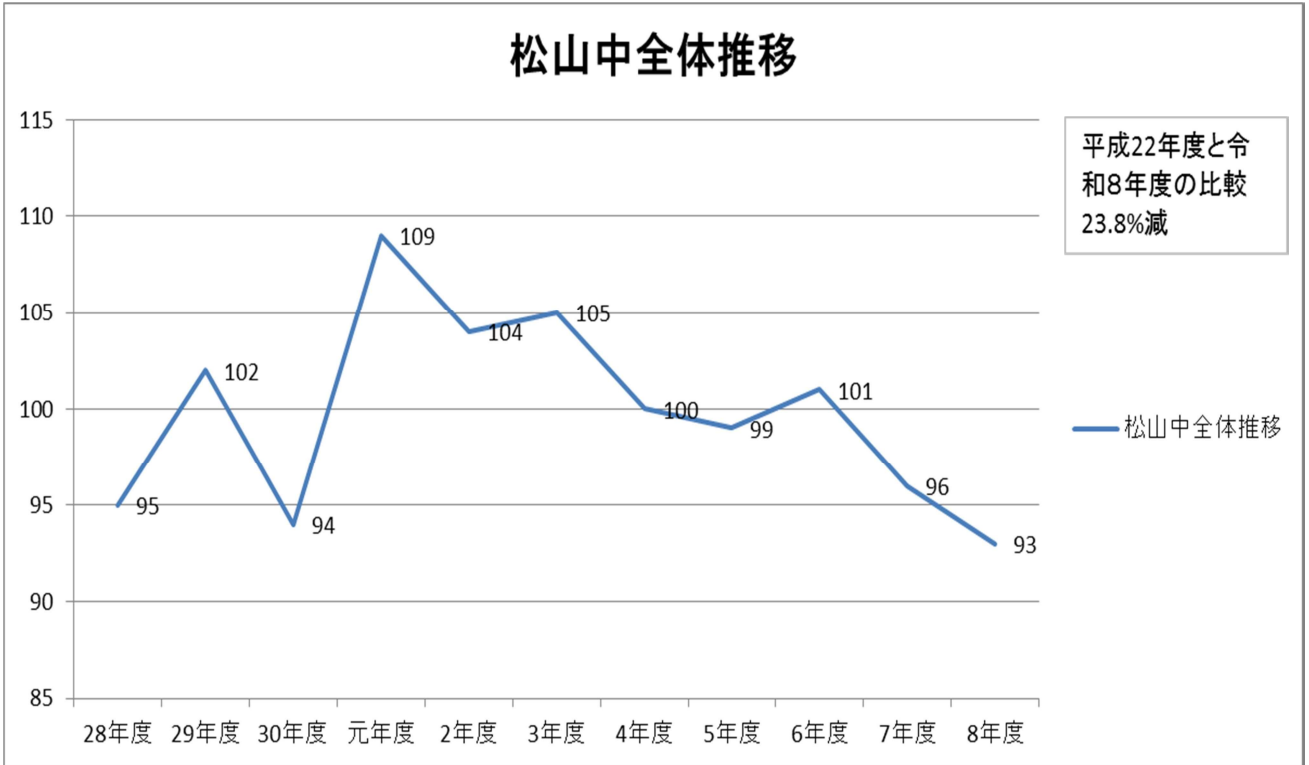
中学校		2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
松山中学校	生徒数	122	108	110	114	118	112	95	102	94	109	104	105	103	101	102	98
	学級数	4	3	4	5	6	5	4	4	4	4	5	5(2)	5	5	5	5
志布志中学校	生徒数	489	455	445	415	450	439	444	418	406	401	407	403	415	424	435	460
	学級数	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	15(4)	15	15	15	16
田之浦中学校	生徒数	28	23	18	14												
	学級数	4	3	3	2												
出水中学校	生徒数	24	23	21	18												
	学級数	4	4	4	3												
有明中学校	生徒数	124	118	113	121	129	131	119	121	110	108	114	139	170	168	154	148
	学級数	6	4	3	4	5	6	5	6	6	6	6	8(3)	8	8	8	7
宇都中学校	生徒数	162	147	146	140	138	134	123	130	125	139	142	152	148	161	142	159
	学級数	6	6	7	7	7	6	6	7	7	8	8	9(3)	8	8	7	7
伊崎田中学校	生徒数	46	54	48	51	51	45	42	38	34	36	33	36	42	45	46	43
	学級数	3	3	3	4	4	4	3	5	5	5	5	5(2)	5	4	4	3
中学校 合計	生徒数	995	928	901	873	886	861	823	809	769	793	800	835	878	899	879	908
	学級数	40	36	37	39	36	35	32	36	36	37	39	42(14)	41	40	39	38

【学級数の推移】

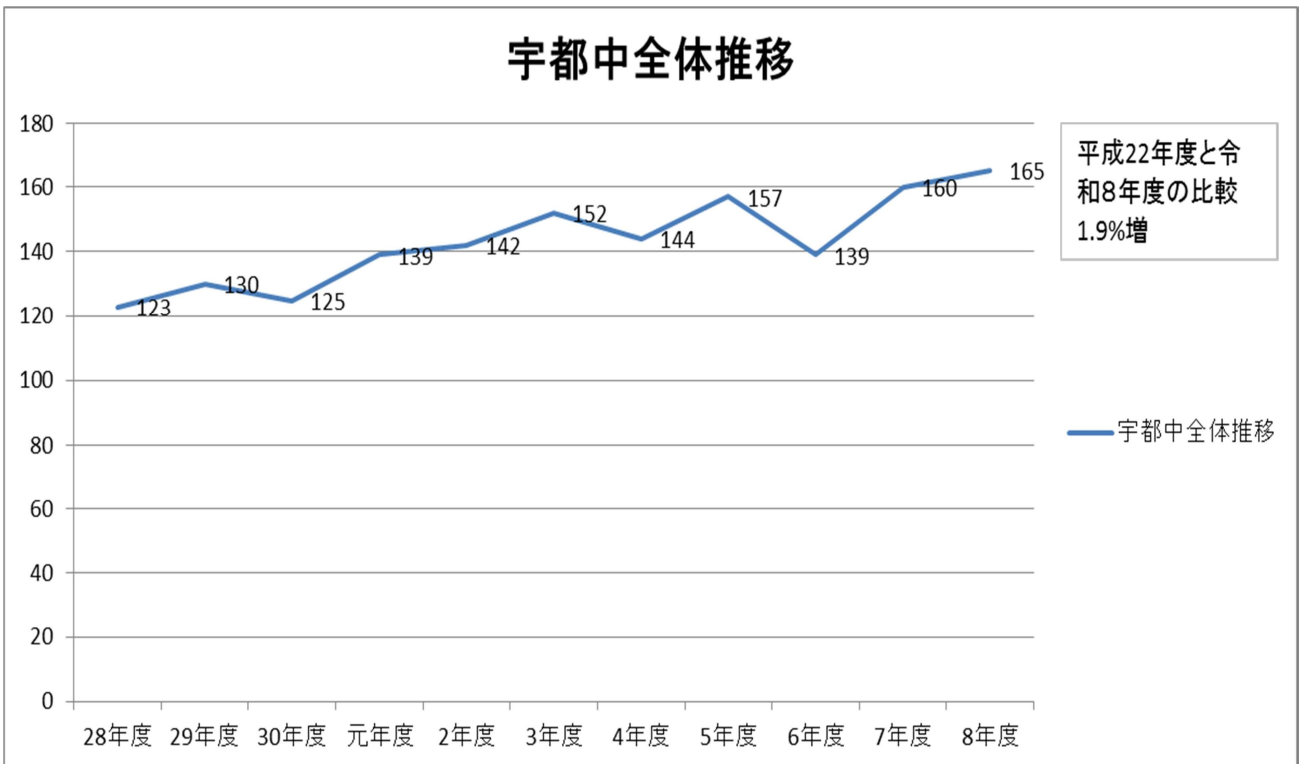
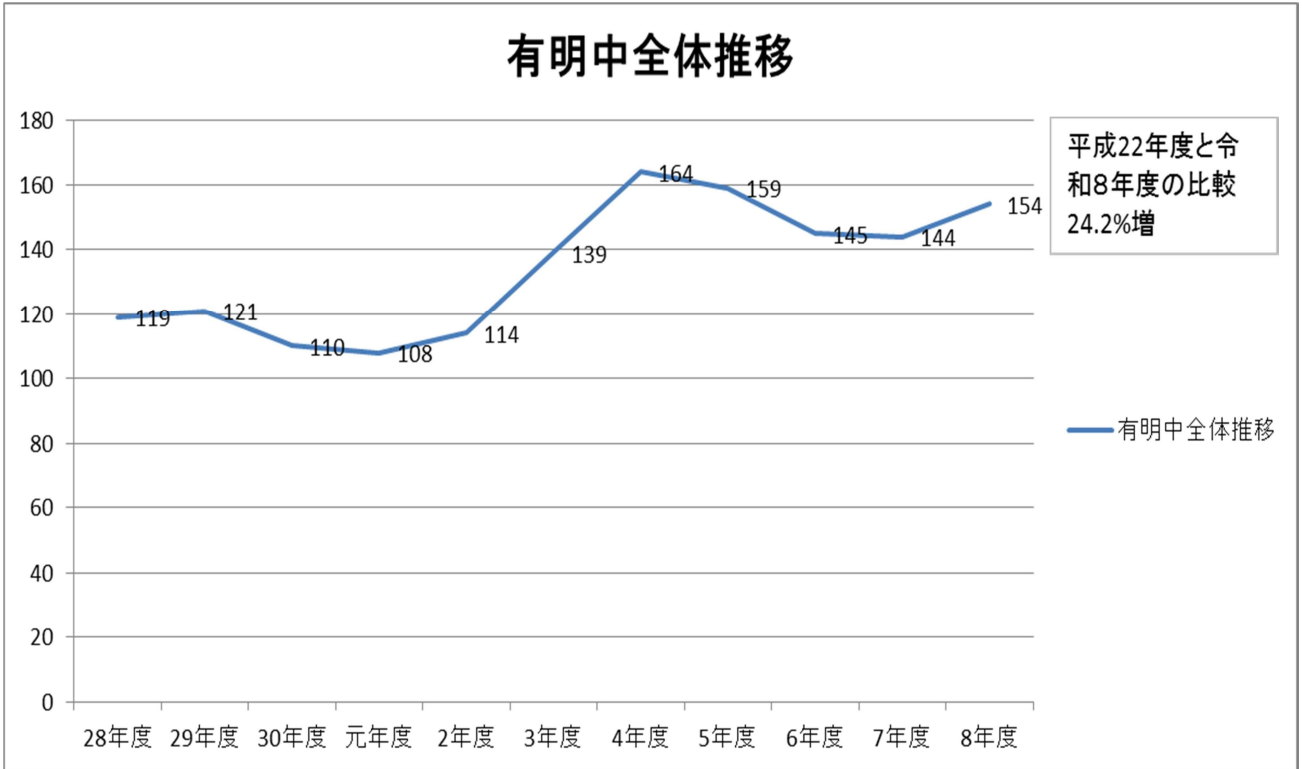
学級数	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
特別	3	2	3	4	5	5	5	8	9	9	11	14	11	10	10	8
普通	37	34	34	35	31	30	27	28	27	28	28	28	30	30	29	30

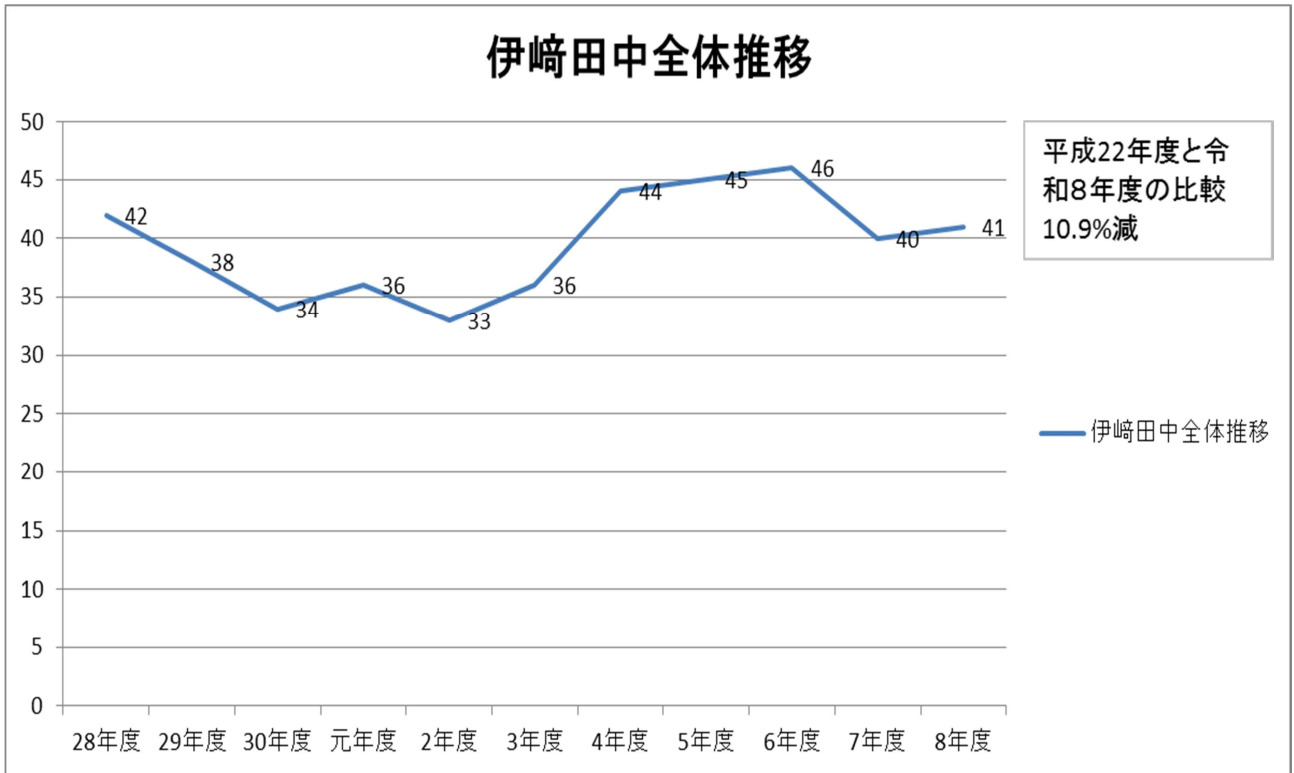
【生徒数・学級数の推移】





※参考
平成22年 (2010)
令和8年 (2026)





報告(4) 総合教育会議設置要領改正について

志布志市総合教育会議設置要領の一部を改正する要領案

志布志市総合教育会議設置要領（平成27年6月1日制定）の一部を次の新旧対照表のとおり改正する。

新	旧
(会議) 第4条 会議は、市長が招集し、 _____必要に応じ て開催する。	(会議) 第4条 会議は、市長が招集し、 <u>年2回開催するほか</u> 必要に応じ て開催する。

附 則

この要領は、令和3年5月19日から施行する。